

# 城山エコミュージアム通信

2012. 3. 20 第11号

ホームページ <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kyouiku/20856/index.html>



エコミュージアムとは、エコロジー（生態学）とミュージアム（博物館）の造語で、その地域そのものが、生きた貴重な資料であるという考え方の下に、地域の歴史や文化、自然、について学び、地域への愛着を深め、交流を深めていく活動です。

たつごやま

## 龍籠山のおはなし



向原から見た龍籠山



広田や向原からはもちろん街から城山湖方面に目をやるとこんもりと丸く二つ並んで見える山が龍籠山<sup>たつごやま</sup>で、向かって右の本沢ダム寄りが雄龍籠山、左が雌龍籠山（ボンテン山）と呼ばれています。雄龍籠山にある金刀比羅宮の境内にはその昔雨乞いの神事を行ったという池があります。また、この辺りから境川、穴川、小松川が流れ始めます。下って町屋で合流し、境川として流れていきます。

龍籠（タツゴ）の「たつこ」は木の切り株の意。タツ、タチは龍神つまり水の神のことで、川（境川）を龍に見立てタツの籠っている山の意といわれています。川尻八幡宮の参道にある一の鳥居から西方を見ると一直線上にこの山が見えます。また、大島の諏訪明神の真裏に行き参道を背にすると、正面にこの山を望むことができます。



### 【地域の雨降り信仰】

- ・辰の日に雨乞いすれば巳の日に降雨、「池さらい\*」をすると大荒れになる。
- ・日照り続きで農作物に被害が及ぶ時、大勢で池の中をかき回し、にぎやかに「池さらい」をして雨を乞う信仰があった。

（\*龍籠山中腹の湧水池。金刀比羅宮境内にある）

## 広田の竜伝説 龍籠山にまつわる伝説



大昔とてつもなく大きなオスとメスの竜が金刀比羅山に仲良く棲んでいました。あるとき、城山の向こうの方から峰の薬師をひとまたぎにして一匹の牡竜が現れ、そしてたちまち大げんかが始まりました。竜が争う時は、真黒な雲を巻き、風を引き起こし稲妻をまじえて大雨を降らせました。どちらが勝ったかはわかりませんが、その時、大雨が降ったのが「雨降（あめふらし）」、滝をなして流れたのが「滝尻（たきじり）」、大風が巻いたのが「風間（かざま）」、そしてその竜が棲んでいたのが「穴川（あながわ）」だったそうです。

（城山町立広田小学校創立十周年記念誌より）

\*雨降（あめふらし）：昔この地の奥の山林は大樹が生い茂りいつも霧がかかっていたといいます。

## オペレッタにもなりました！



この伝説をもとに広田小学校ではオペレッタをつくり発表していました。写真は平成7年に使用された、「ひろたのむかしのはなし おおきなりゅうがおったとき」と始まるオペレッタの楽譜です。

平成23年度

# 城山エコミュージアムツアー

## 鎌倉みち起点から相模野台地を歩く

～村境に点在する謎のスポット～

開催日：平成24年2月26日（日）開催 参加者数計：40名

レポート

テーマ



② 鎌倉みち起点  
石標に彫られている「八里橋なし九里の土手」ということが今日の旅の始まりです。

龍籠山

至高尾

鎌倉みち起点

城山総合事務所

至橋本

至橋本



③ 一本杉（昭和30年頃）  
ここを目印に土手を下り、藤沢まで繋がる道に入ります。



今は昔杉はなけれど一本杉

城山がよく見える

険しいハケは畑や住居ができません自然が残っている

⑤ 原宿用水の用水堀が、この舗装路の下に暗渠になっています。

④ 大山みちを後にして相模横山といわれるハケの道をたどります

昔子軒の家があったので三家(せんや)

この道の延長上には田畑環状遺跡があるのです

それならここに虫ヶ塚があるのね

向原から見た城山



悲しい恋のエピソードも

⑦ 山野の石像群  
石仏は全部で七基。以前は山野の入り口にありましたが、ここに移されました。



⑨ 諏訪明神  
諏訪神社なのになぜ石橋尾（イワタテオ）神社の扁額があるのか？さらに神殿の裏に回ると龍籠山が正面に並んで見えます。不思議ですね。



⑩ 曾洞宗・長徳寺

新小倉橋

小倉橋

トロッコ道説明板

相模川

諏訪明神

長徳寺

清流の里

### ⑥ 山野 (さんや)

かつて三家といわれていたそのうちの一軒のご当主である八木球貴さんにお話を伺いました。



### ⑧ 相原界と大島界の道

古い道の行く先をたどると、次々とロマンが広がってきます。

### ⑪ トロッコ道 (横浜水道みち)

明治20年に完成した横浜水道の第一工区です。今回一番人気のあったスポットで、清流の里の上の山道と小倉側からも入ることができます。昨年秋の台風以降倒木がありましたが、今回歩くことができました。自然に囲まれたとても素敵なコースです。



トロッコ道の水道管



トロッコ道看板



両側に石垣が積みまっています

### ⑫ トロッコ道の自然



河岸段丘崖のため人の手が入らず、極相林に近い環境が見られました。

#### 参加者の感想から

・近くで行ける場所なのにまだまだ未知の場所が多く興味深かったです。

・地元の不思議・歴史の深さを知りました等。

ご参加ありがとうございました！



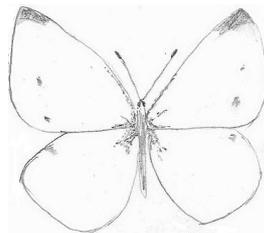
## 知ってナットク! しろやま



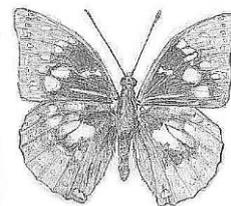
### 第3問 春のチョウ編



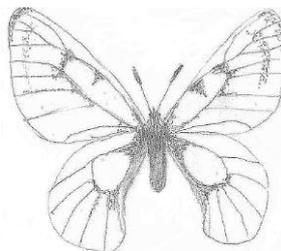
【問題】下にあげるチョウは旧城山町で見られる蝶ちょうですが、この中で春に成虫が見られないものはどれでしょう？



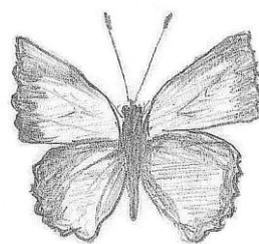
① モンシロチョウ



② オオムラサキ



③ ウスバアゲハ  
(ウスバシロチョウ)



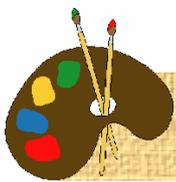
④ コツバメ



正解は② オオムラサキ

小さな幼虫で冬を越すオオムラサキは春から夏にかけてエノキを食べて大きく成長し、7月ごろに羽化します。

①のモンシロチョウや④のコツバメは蛹で冬を越し、3月～4月に成虫になります。モンシロチョウはキャベツなどのアブラナ科の畑で見られますね。コツバメは小さくてすばしく見る機会は少ないようですが、ツツジの花などでみられることがあります。③のウスバアゲハは、早春に卵から孵化し、ゴールデンウィークの頃成虫になります。ですから、正解は②のオオムラサキです。



# 城山探訪

しろやま見どころ紹介

## 畑久保西遺跡の発掘調査



発掘が終わった遺跡の様子

さがみ縦貫道路の建設に伴う、畑久保西遺跡の調査が完了しました。近所にお住まいでした菊地原さんの話では、畑の下に遺跡があるとは思わなかったそうです。「相模川があり、水の便が良かった」ので、古代から人が住み続けたのだらうとのことでした。菊地原さんのお宅だった所は縦貫道の跨道橋のたもとになっており、「とにかく、すっかり変わってしまった。地域の発展につながれば良いのだが」と感慨深げでした。変わらず残されたウラジロガシの大木が

見守るこの地からは、晴れた日には、丹沢の山々が見渡せ、冬期は山肌



白馬の雪形が見られます。発掘内容については、後日、この紙面でも特集する予定です。また「かながわ考古学財団」のホームページでも詳しく見られます。

遺跡から見える白馬の姿

## Information

### 相模原市文化財展に参加しました

市域の歴史と文化財をテーマに掲げて開催された第37回相模原市文化財展に参加してきました。今回は初参加ということで、まずは私たちの活動を知ってもらおうと、「城山地域とエコミュージアム」をテーマに、エコミュージアムツアーをメインとした育てる会全体の活動を展示紹介。自然から文化まで盛り沢山な内容に大変好評をいただきました。



会場の皆さんに展示内容を説明

### 地域のことを子どもたちへ



先日会員の樋口さんが広陵小学校の地域を知る学習へ出張。若葉台を始めとした地域について学習会を行い、実際に外を歩きながらお話してきました。子ども達からは広陵小学校の開校式の写真を見て「周りに家がない」と驚いたり、中央公園の中を歩き落ち葉の上を歩いて感動。普段ふれることのない体験ができて嬉しかったようです。後日お礼をまとめた素敵な冊子が届きました。ありがとうございました。



### 冬の相模川で野鳥観察を行いました

自然部会では、2月5日（日）市立博物館の学芸員秋山幸也さんを講師にお迎えして相模川沿いの冬の野鳥観察を行いました。とても似ている野鳥も双眼鏡でよく見ると全く違ったり、耳を澄ますと声も様々。3時間でおよそ30種類もの鳥達とめぐり会うことができました。午後は『トコロジスト』についての学習会。地域の達人・トコロジストについてや、活動の方法について学びました。感想は、まさに「地域の達人への道は一日にしてならず」。頑張ります。



### 一緒に活動しませんか？

城山エコミュージアムを育てる会のメンバーは、それぞれの興味にあわせボランティアで活動しています。

高校生以上の方ならどなたでも参加可能！  
まずは見学してみませんか？詳しくは右記まで。ご連絡をお待ちしています。

企画/作成：城山エコミュージアムを育てる会

発行：相模原市教育委員会 生涯学習課 城山教育班

問い合わせ：TEL：042-783-8184【直通】

FAX：042-782-1290

この通信のバックナンバーは、ホームページ（パソコン）からもダウンロードできます。携帯でも活動内容をご覧いただけます。

